

# しぜんのかけら

## 目的

- ・自然の美しさや温かさ、厳しさ、尊さを感じ取れるようになる。
- ・ゲームによって、自然を集中して観察することで、自然に対する想像力を活性化させ、気づきを促進したり、神秘性に心が動かされたり、新たな好奇心や探求心が生じたりする機会を提供する。
- ・みんなが自分と同じ又は似た感覚、考え、見方を持っているとは限らず、人はそれぞれ違うということを理解し、認め合うことができるようになることを目指す。
- ・成果を伝える表現力やコミュニケーション能力を育成する。

## 対象

小学生以上 ※ただし、ルールをアレンジをして、先生が付き添うならば、幼稚園、保育園児も相談可能

## 団体で用意するゲームに必要なもの

- ・課題シートのコピー
- ・ビニール袋(3斤)を1班につき3枚程度ずつ
- ・筆記用具、バインダー又はクリップボード(A4サイズ)

## ルール

- ・玉城青少年の家の施設内全域で、4～8名で1班として活動する。
- ・制限時間、振り返り、結果発表は、団体で自由に設定することができる(目安として1時間半～3時間)。  
スタート前に班員で話し合ってルートや進行方向を決定し進むとよい。
- ・マス内の課題をクリアすると、マス内のポイントをゲットすることができる。  
(時期や運や人の感じ方にもよるが、)難易度が高いほど、ポイントも高い設定になっている。  
基本的には、合計ポイントが高い班から高順位となる。  
その他、各賞やオリジナルルール、アレンジを加えてもよい。別のゲームとしての使用も可能。例)ビンゴなど
- ・一つのマスの課題に対し、班員全員が確認、納得できなければ、ポイントは得られない。
- ・一つのことを、二つ以上のマスで兼用することはできない。
- ・「もってくる」と書いてあるものは、集合場所までビニール袋などに入れて持ってくる。
- ・班員全員が協力しながら活動し、ゴールは全員が揃っていないとできない。
- ・集合場所(スタート/ゴール)に1名以上の審判係(引率者など)を配置し、持ち帰ってきたもののチェックや、微妙な答えのジャッジ、ポイント確認などを行う。  
また、全体で集合して、各班ごとに成果の発表や説明を行う時間を設けると、より効果的である。

## 注意事項

- ・安全管理を常に心がけ、危険な行為や無理をしない。  
(崖、足場、溝、スベリ、切れる葉、毒性植物、ロープ、古い人工物、車、ハチ、ハブなど)
- ・「もってくる」シリーズでは、特別に採取を許可しているため、各班で1つのみ採取して、むやみに取ったりちぎったりしない。自然保護や環境保護に留意すること。
- ・花や草などを触った手で、目や口などを触らないこと。終了後はしっかりと手洗いをする。